

HIROSHIMA UNIVERSITY BioMed News

Hiroshima University Graduate School of Biomedical and Health Sciences

目次

Preface 巻頭言	
「霞キャンパス 研究力強化推進ワーキンググループ」… 大段 秀樹	1
Greetings ご挨拶	
「就任のご挨拶」…………… 久保 達彦	2
「就任のご挨拶」…………… 伊藤 公訓	2
「就任のご挨拶」…………… 加来 真人	3
「就任のご挨拶」…………… 渡邊 朋信	3
「就任のご挨拶」…………… 岡田 賢	4
「就任のご挨拶」…………… 吾郷由希夫	4
「学際的、国際的な研究の楽しさを伝えたい」… 新福 洋子	5
「就任のご挨拶」…………… 中野由紀子	5
「就任のご挨拶」…………… 三原 直樹	6
「就任のご挨拶（脳機能の電氣的制御）」…………… 眞溪 歩	6
Activities 新設講座紹介	
「寄附講座「四肢外傷再建学講座」の紹介」…………… 四宮 陸雄	7
「寄附講座「共生社会医学講座」の開設にあたって」… 石井 伸弥	7
My Motto 座右の銘	
「自然体」…………… 香西 克之	8
「塞翁が馬」…………… 松浦 伸也	8
Prize Winner 各賞受賞者紹介	
「令和2年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)を受賞して」…………… 越智 光夫・安達 伸生・亀井 直輔	9
Research Frontline 研究最前線	
「損傷核酸による変異・発がん機構の解明と遺伝子治療用ゲノム編集核酸の開発」…………… 紙谷 浩之	10
「消化器がんに対するreal time薬剤感受性システムの構築」…………… 田邊 和照	11
Air Mail 広大から海外へ留学している若手からの便り	
「米国オハイオ州立大学留学便り」…………… 山野 喜	12
編集後記 …………… 河合 秀彦	12

霞キャンパス 研究力強化推進ワーキンググループ

大学院医系科学研究科長 大段 秀樹



昨年夏に実施しました研究科長ヒアリングの際に、霞キャンパスにおける共同研究の推進と研究環境の整備に関する積極的なご意見・アイデアをいただきました。その中で、是非、実現したいと考えたのが、「研究室のカタログ化」と「リソースの情報共有」です。

医系科学研究科は、我が国初の医歯薬保健領域が統合した総合研究科であって、霞キャンパスには100を超える研究室がそれぞれ創造的な研究を展開しています。これらの研究室間で互いに共有できる技術やリソース情報の検索が可能になれば、共同研究の推進と研究環境の改善に繋がるはずで、例えば、疾患マウスモデル、細胞株、抗体、プラスミド、さらには研究機器など、様々な研究用リソースの情報を共有する管理システムが構築できれば、研究が円滑化・活性化するでしょう。

この課題に取り組むため、「研究力強化推進ワーキンググループ」を設置いたしました。ミッションを実現する布陣には、各領域からproductive primary investigatorをご推薦いただきました。教員6名（高橋 陵宇准教授（薬）、河合 秀彦准教授（薬）、内部 健太准教授（歯）、茶山 弘美准教授（医）、田中 友加准教授（医）、杉本 潤助教（医））と、霞地区運営支援部総務グループから3名の事務職員にご就任いただきました。皆さんには精力的にご参画いただき、素晴らしいアイデアが交換されています。また、各研究室からは、情報共有の担当教員を1名ずつご選任いただきました [回答率52% (62/119)]。ご選任いただいた62名を対象に、研究リソース等の情報共有化に関するアンケートを実施いたしました [回答率74% (46/62)]。その結果、9割の研究室が研究リソースの情報共有化を希望されています。今後は、トランスレーショナルリサーチセンターとも協働して、usefulな「研究室のカタログ化」と「リソースの情報共有」システムの構築を実現して参りますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

